

下鴨少年補導委員会
松ヶ崎支部

発行責任者
支部長 北川 憲一

松ヶ崎少年補導だより

一年間を振り返って

平成二十六年度
松ヶ崎小学校 PTA 会長 三木 啓司

早いもので、PTA 会長の大役をお受けして一年が過ぎようとしています。この一年間、少年補導委員会様をはじめ、地域

団体の皆様には、多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。この場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。飯盒炊さんや夏祭り、区民運動会や子どもフェスティバルなど。考えてみると松ヶ崎小学校の主な行事は地域の皆様のご協力で成り立っているようなものだとあらためて感じました。また、これらの行事だけでなく、日頃の見守り活動などでもご協力いただき本当にありがとうございます。

先日、京都市 PTA 連絡協議会の研修会があり、京都市水族館の飼育員の方と、元小学校校長で顧問として水族館の教育普及に携わっておられる方による、

「身近ないのち〜イルカの飼育を通して見えてくること〜」という講演会に参加しました。講演はとても興味深く、イルカの飼育も子育てと共通する点が多く、全力で取り組まなければならぬこと、信頼関係がなければついてきてくれないことなどを話されました。講演の後の質疑で、ある保護者の方から「近年子どもたちの頭が良くなり、保護者の注意を聞かなかつたり、説明しにくいような常識的な事でも理由を問われたりして保護者として子供に教えるにくくなっているが……」という質問がありました。

この質問に対して講演者の方が答える中で、「理屈で説明できないことでも、伝えるまで言い続けること。」さらに、「保護者だけでなく、周囲の大人たちも同じことを言い続けてあげること」が重要。

とおっしゃっていました。たくさんの方に同じ様に注意されると、「そういうものなんだ」と思うようになることでした。その前提となるのが、保護者と地域の人が同じことを同じように注意することだそうです。

私もその通りだと感じました。いくら保護者や周囲の大人が子供たちの生活を見守り、声掛けをしていても、それぞれの言うことが異なっていると子どもたちは混乱してしまうと思います。幸い、松ヶ崎は地域の皆様「地域の子どもは地域で守る」

という高い意識で温かく子どもたちを見守って下さっており、色々な行事で保護者と接する機会もあることから、同じ考え方を持つことができていると思っています。

これからも、子どもたちのため、平和で住みやすい松ヶ崎のさらなる発展のために、我々保護者と地域の皆様がこれまで以上に連携を深めていければと考えております。引き続きご指導の程、よろしく申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



正田町 S.S. さん

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

地域を見守って

松ヶ崎民生児童委員 村上弘子

民生児童委員となり、はや

三十年超となりましたいま、次
代の変遷をつくづく感じる今日
此の頃です。三十年前は北山通
もなく、田圃があり、田圃風景
が多く残っている環境の中にあ
り、民生児童委員の活動もゆつ
たり、のんびりしたものでした。
しかし近年、我が松ヶ崎も例外
なく少子高齢化が進み、我々の
活動も複雑になってきておりま
す。

松ヶ崎学区は十三名の民生児
童委員と六名の老人福祉員が一
緒になり、高齢世帯、障害をお
持ちの方、独居の方、そしてお
子達の見守り活動をしています。
活動をしていく上で、手助け
が必要と思われる方に対しては
迅速に他機関と連携をとり、速
やかに行動しています。

民生児童委員十三名の内、二
名の主任児童委員がいます。こ
の二人は松ヶ崎小学校、松ヶ崎
児童館と連絡を密にしながら、
大切なお子達を見守り、子供達
との友情を深めながら活動をし

ています。

また、六名の老人福祉員はそ
れぞれの担当地域を持ち、ご高
齢の独居の方々をお訪ねし、ご
機嫌をお伺いし、楽しく世間話
に花を咲かせての活動です。

しかしながら、昨今、子供の
悲しい事件、事故が発生してい
ます。我々にどこまで、何がで
きるのか、悩みは深いです。

松ヶ崎は地域ならではの行事
も多く、自然も残っています。

そして教育環境にも恵まれた貴
重な学区と自負しています。

これからも地域の皆様の幸せ
と健康を心より祈りつつ日々活
動を続けていく所存ですので引
き続き御協力、御鞭撻をよろし
くお願い致します。



窓

まっちゃんき大好きっこ

井出ヶ海道町

山本 暁子

「僕ね、小さい頃からこの山で遊んでたんで
す。」

出会った頃、主人はそう言って、私を山歩き
に連れて行ってくれました。

「この人は、本当に松ヶ崎が好きなんだなあ
……」と思ったことを覚えています。

あれから二十年。私たちは二人の子どもたち
に恵まれ、穏やかに暮らしています。

昔はもつと自然豊かだったと主人は言います
が、子どもたちにとっては今も、この地は大好
きな遊び場です。

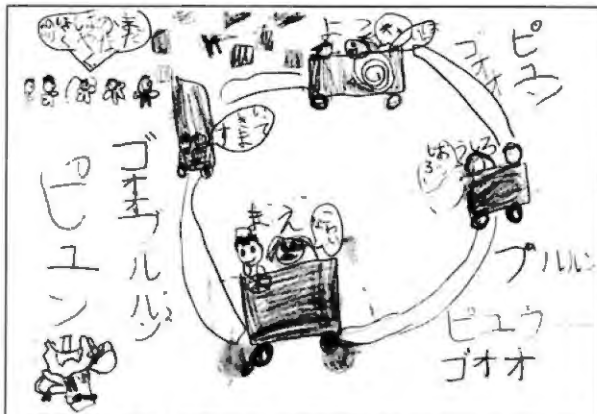
おかあさん、カニとザリガニ釣りに行くわ！
と言って、おじいちゃんお手製の竿にちくわを
ぶら下げて出かける子どもたちの姿は、なんと
も可愛らしく、見ていると幸せな気持ちになリ
ます。

一方私は、自宅でヨガ教室をしているので
すが、窓の外から聞こえてくる鳥のサエズリや風
の音は、まるで心地よいBGMのようです。



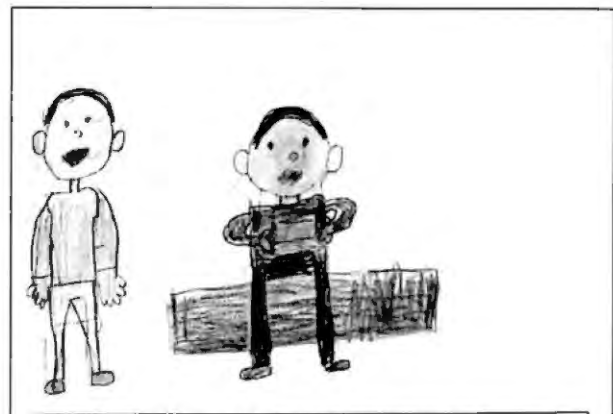
美しい夕日が山に沈む様子や、時々宝が池の
方面にかかる虹……松ヶ崎の好きなところを書
けばキリがありません。
大人も子どもも、この地の恩恵を受けて暮ら
しているのだと感じています。

ここで積み重ねる思い出は、いつか巣立って
ゆく子どもたちの宝になるでしょう。
感謝を忘れず、日々を大切に暮らしながら、
次世代のまっちゃんき大好きっこにバトンを
渡してゆけたらと思っています。



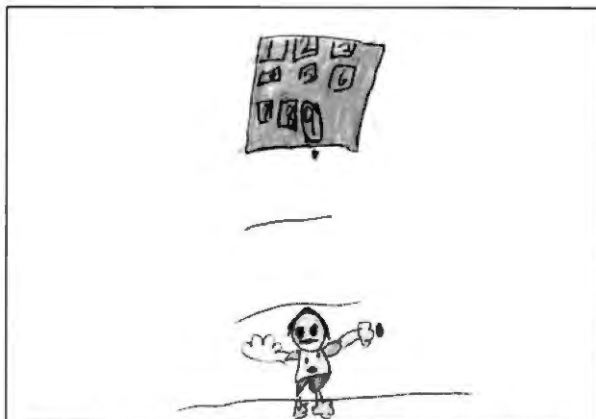
こどもフェスティバルのおもいで
 二どちようのしようぼうしに
 のってたふしかたです。どう
 しアか。といつと、スピード
 がはやかたから、たまたま、お
 スピードがはやくすぎでとな
 りにけいさつがいたから、つな
 るか。とおもいました。でも
 たのしかたから、なんかいも
 のりしました。

松ヶ崎小学校 1年1組 おおもりねね



かわさき。たつお。一ねんくみ
 うどんがすこしあつたので、
 すこし、まえました。
 さめたので、おぼろいしが、あつて、つ
 かつた人にかたをえています。
 ジェイスをとりにつけてのうら
 もてあつて、うらやまをばして
 てあげられました。こどもで、は
 木も、こどもは、そのあつた、た、
 ら、いしは、た、あつた、い、た、た、
 れてきました。
 ふと、のぼりか、か、か、か、か、
 う、い、い、い、い、い、い、い、
 マスターができました。

松ヶ崎小学校 1年1組 かわさきたつお



まつおかれいいい
 ストラップア、ア、ア、ア、ア、
 マ、い、い、い、い、い、い、
 ら、てん、も、あ、り、ま、し、
 ても、ま、の、し、が、大、で、
 つ、ま、も、ア、リ、マ、シ、
 べ、ら、い、あ、い、は、
 マ、い、い、い、い、い、
 つ、ま、も、ア、リ、マ、シ、

松ヶ崎小学校 1年2組 まつおかれいじ



かつ、し、ち、ま、
 かん、かん、かん、かん、かん、
 かん、かん、かん、かん、かん、
 かん、かん、かん、かん、かん、
 かん、かん、かん、かん、かん、
 かん、かん、かん、かん、かん、
 かん、かん、かん、かん、かん、
 かん、かん、かん、かん、かん、

松ヶ崎小学校 1年2組 かつ山ちほ

子供フェスティバル (11月3日)

うどんコーナー・ゲームコーナー・しめなわコーナー・ロッククライミング
 消防団コーナー・警察コーナー・PTA・工織大コーナーなどで楽しい一日を過ごしました。

子供フェスティバルの様子



自分で木を切って
かわいい作品作りました。



ポリスマろんとカモガイガーと一緒にパジャ!



ロッククライミングがんばれ!



機動隊の盾ってけっこう重いね!



支部活動 状況報告

前号に引続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

- 1 九月三十日 松ヶ崎少年補導だより第五十九号を発刊し、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。
 - 2 十月十二日 第六十回区民運動会に協賛参加いたしました。
 - 3 十月十四日 支部役員会第二十九回子供フェスティバルについて、催し物や役割分担について検討いたしました。
 - 4 十月二十四日 支部役員会第二十九回子供フェスティバルについて催し内容、役割分担の最終確認を行いました。
 - 5 十一月三日 第二十九回松ヶ崎子供フェスティバルゲームや工作コーナーなど、楽しい一日となりました。
 - 6 十一月九日 松ヶ崎防災訓練に参加しました。
 - 7 十一月十一日 支部役員研修会および懇親会をアピカルインにて行いました。子供フェスティバルの反省や来年に向けての話し合いをいたしました。
 - 8 十一月十一日 標語掲出七月に選出された非行防止標語を校区内に掲出しました。
 - 9 十一月二十三日 京都工芸繊維大学学園祭構内パトロールを行いました。
 - 10 一月十二日 アピカルイン京都で行われた松ヶ崎消防分団出初式に出席しました。
 - 11 三月十八日 松ヶ崎少年補導だより第六十号の編集会議を行いました。
- その他、青色回転灯装着車によるパトロールを随時実施しております。
- また、古紙回収を毎月第四金曜日に行っています。皆様のご協力に感謝いたします。
- 以上ご報告申し上げます。
- 支部長 北川 憲一